

お知らせ

大変遅れましたが、水産資源管理談話会報 34 号をお届けします。本号は、平成 15 年 6 月 10 日と同年 9 月 19 日にそれぞれ開催された第 44 回と 45 回談話会の記録、および平松一彦氏の投稿論文「MCMC 入門」です。

第 44 回談話会の話題提供は鈴木直樹氏による「漁船規模に階層性がある場合の漁業管理問題」、および川島敏彦氏による「シンポジウム「明日の漁船像を考える」—漁船の現状と展望—」です。水産資源の管理や漁業管理で漁船がテーマとして取り上げられたことはほとんどなかったと思います。談話会では資源管理や漁業管理で漁船の重要さが指摘され、非常に興味ある内容でした。

第 45 回談話会ではミナミマグロ資源研究の現状が取り上げられ、話題提供は辻 祥子氏による「ミナミマグロ資源管理、怒涛の歴史の中で～資源管理における不確実性」、高橋紀夫氏による「ミナミマグロ調査漁獲から得られたもの～CPUE 再考へ」、および平松一彦氏による「CCSBT で開発中の管理方式(Management Procedure)について」です。広域回遊資源の管理と資源量指数としての CPUE 評価の難しさを考えさせられました。

本会報 33 号で、松田弘之氏による「生物学的許容漁獲量決定規則の課題と展望」に印刷上の手違いで図 1 と 2 の落丁がありました。ここにお詫びをするとともに、落丁の図 1 と 2 を本号に掲載させていただきました。

次回第 49 回談話会は、平成 16 年 9 月頃に調査船調査による資源評価について開催予定です。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

(北原 武)